

令和元年 第2回定例会 質問項目

鈴木 たかや 議員 (自民党議員団)

- 1 我が区の人口増加について
 - (1) 保育園の管理について
急ピッチで進む保育園開設の管理体制について
 - (2) 指定管理者制度の問題について
業務内容を把握している職員の減少への対応策について
 - (3) 保育サービス利用有無の公平性について
保育サービスを利用されない方々との公平性について
 - (4) 待機老人について
今後の介護施設の不足見込みと対策について
 - (5) 高齢者の対策について
増え続ける高齢者の課題と今後の対応について
 - (6) 小学校の教室の不足について
今後の区の対応策について
- 2 大雨警戒レベルの導入について
5段階の大雨警戒レベルの活用や区民への周知、啓発について
- 3 (仮称)港区手話言語の理解促進及び障害者の多様な意思疎通の推進に関する条例の制定について
 - (1) 情報コミュニケーションの選択肢の充実という展開が期待できるよう検討を進めることについて
 - (2) パブリックコメントを募集する必要性について
- 4 その他

清原 和幸 議員 (自民党議員団)

- 1 財政運営について
予定されている事業を計画どおりに進めるためには、基金の積み立て、また、設置も必要だと考える。将来を見据えた財政運営について、区長の考えを伺う。
- 2 行政サービスについて
港区の総人口は今後も増加傾向であり、事務量も増加する。区民が求める質の高い行政サービスを恒久的に提供するため、行政改革に向けて、どう取り組んでいくのか。

3 都区財政調整制度について

ア 都区財政調整制度による普通交付はされていないが、今後も引き続き、東京都において港区内の整備に積極的に取り組むように働きかけていただきたいと思うが、いかがか。

イ 区民や区内事業者は、多額の固定資産税等を納めている。課税に対しては激変緩和措置が講じられているが、激変緩和措置終了後の税金の急激な上昇は生活や事業に影響をきたすと考える。激変緩和措置期間の延長や負担軽減に向けた措置を継続し、新たな軽減策を施すように東京都に働きかけていただきたいと思うが、いかがか。

4 港区政策創造研究所の今後の取り組みについて

人口増や区内の大きな変化に区が的確に対応できるよう、港区政策創造研究所の今後の取り組みについて伺う。

5 安全・安心な地域づくりの要である町会・自治会の活動支援について

日常活動や恒例行事等の事業について調査・検証してさらなる支援の充実や支援策策定に向けて取り組んでいただきたいと思うが、いかがか。

6 避難所となる施設などの生活環境の確保、防疫、トイレの整備について

区は、避難所となる施設の災害時におけるトイレを確保するために、マンホールトイレや組み立てトイレ等の整備に努めているが、個人個人の備えも必要である。そのため、区が改めて区民や区内事業者に避難所等のトイレの状況について周知を図ることが必要と考える。加えて、避難所の衛生環境の確保や防疫、トイレの整備等について、区長の考えを伺う。

7 危機管理体制の強化について

緊急の際には、危機の特性について共通に認識を有し、各部署の活動状況を把握し、必要とされる行動を速やかに決定し、担当部署に指示するといった総合的な対応が求められる。そこで、区の指揮命令系統、また、危機管理体制の強化に向けた取り組みについて、区長の考えを伺う。

8 青山地域のフードデザート化に向けたさらなる対応策について

都営青山北町アパート敷地内での野菜・果物の移動販売は、都営住宅の建て替えに伴って、一定の時限的な営業形態とも聞いている。また、鮮魚や精肉など冷蔵設備を必要とする食料品に対するニーズもあると思う。短期、中期、長期的にこうした課題を解決していく必要があると思うが、さらなる対応策について、区長の考えを伺う。

9 地域包括ケアシステムのさらなる推進に向けた取り組みについて

医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に提供される地域包括ケアシステムのさらなる推進に向け、区はどのように取り組んでいくのか。

10 (仮称) 港区子ども家庭総合支援センター内に併設される児童相談所の整備について

ア 新たに設置する児童相談所において、児童虐待の根絶に向け、どのように対応していくのか。

イ 現在、子ども家庭支援センターで東京都の児童相談所と連携して対応している児童虐待対応についても、相談件数が大幅に増えていると聞いている。児童相談所の設置を待たず、対応の強化が必要であると考えているが、いかがか。

11 保育の需要に応えるための定員の確保策について

今後の保育需要に応えるための保育定員の確保策について

12 障害者支援策の充実について

障害のある人もない人も、全ての人が、安心して地域で暮らすことができるよう、区では障害者福祉の様々な施策を実施し、各種の課題解決に向けて取り組んでいるが、精神障害者が、今まで以上により輝いて地域で生活していくために、区として、今後、どのように支援の充実に図っていこうと考えているのか。

13 感染症の防疫体制について

区民や多くの滞在者の生命を守るため、感染拡大を最小限に留め、パンデミックに至らせないためには、万全で迅速な医療連携体制の整備が不可欠であると考えている。感染の蔓延を防ぐ防疫体制について、区長の考えを伺う。

14 中小企業者の支援となる（仮称）港区立産業振興センターについて

中小企業者の経営支援の拠点となる（仮称）港区立産業振興センターの機能の充実に図るための取り組みについて、区長の考えを伺う。

15 商店街振興支援のさらなる充実に向けた取り組みについて

区は、今後も引き続き、商店街と緊密な連携を図って、商店街振興に向け、新規の事業を立ち上げるなど、調査・研究を続けて商店街の支援策を検討していただきたいと思うが、いかがか。

16 安全・安心に配慮した観光振興支援策「ナイトタイムエコノミー」について

国内外から区を訪れる多くの観光客などが、区の多彩な夜の観光資源を安全・安心に楽しんでいただくため、今後どのような取り組みを行い港区ならではのナイトタイムエコノミーを推進していくのか。

17 自転車の走行ルール及びマナーの普及・啓発活動の促進について

区民が、被害者にならないためにも加害者にならないためにも、自転車の走行ルールやマナーの周知徹底を図ることは重要なことだと考える。そこで、自転車の走行ルール及びマナーの普及・啓発活動の促進について、区長の考えを伺う。

18 交通不便地域の解消に向けた取り組みについて

区は、区内交通網の整備のため、港区総合交通戦略を掲げて、交通不便地域解消に取り組んでいるが、今後も高齢者の増加や平均寿命の延伸等あらゆる観点から調査・研究を重ねて、移動手段の確保に向けて、より積極的に取り組んでいただきたいと思うが、いかがか。

19 J R高輪ゲートウェイ駅の新設に伴う、第一京浜国道への影響について

道路は、区民生活や地域経済活動を行う上で、必要不可欠な要素である。JR高輪ゲートウェイ駅周辺に接する幹線道路である第一京浜国道の渋滞を招かぬ対策が必要と思うが、いかがか。

20 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進について

港区でも競技が開催されるスポーツの大会を契機として、今後、子どもから高齢者まであらゆる世代の誰もがライフステージに応じて「する」「みる」「支える」を気軽に楽しめるスポーツ活動をどのように推進していくのか、教育長の考えを伺う。

21 教育について

教育委員会では、豊かな心を育成するためのより効果的な指導方法も研究されていると思う。そこで、豊かな心を育成するための指導方法などについて、教育長の考えを伺う。

22 その他

うかい 雅彦 議員（自民党議員団）

1 羽田空港機能強化について

(1) 試験飛行について

今回の港区議会議員選挙において羽田空港の機能強化については争点の一つとされた。その中で住民の声を聞けば、一度試験飛行を行えないかとの声が強い。飛ばせないものかと国土交通省に問えば、羽田空港の管制システムが完成しないと難しいとの回答であった。先月、港区上空を低い高度で飛んでいる飛行機を見たが、その時の状況を教えていただきたい。

(2) 今後の日本の航空政策について

来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までの間の増便と言う事であるならばまだ受け入れられるとの区民の声が多いが、それ以降も観光客の増加を目指すのであるならば、羽田空港の滑走路の延長や再整備が求められる。また、ふるさと納税における我が区への影響が大きくなる中、本来の地方活性化を考えるのであれば地方空港への発着枠を増やし、もっと多くの観光客が地方へ訪れる施策を国は考えるべきではないかと考える。ふるさと納税による流出額が40億円を超えると見込まれる我が区として国に対して要請していくべきと考えるが区の考えはいかがか。

(3) その他

2 自転車シェアリングについて

(1) シェアリングポートの設置について

ア 高輪地区の自転車シェアリングポートの設置が進んでいないように感じられる。ご協力を頂いている東海大学のポートは休日には門が閉まっているが、外の道路上に置いていかれる方が多い。この改善点について伺う。

イ 高輪地区総合支所の5階の広場前では設置ポート数を超える自転車が置かれている。

広場での噴水は長く使われておらずより多くのポートを設置できるようにすべきではないか。また、現在の噴水のある状況でも、その淵に合わせた形でポートを設置することも可能と考えるがいかがか。

(2) その他

3 受動喫煙対策について

(1) 来年の東京都の条例実施に向けた補助制度の実施状況について

来年、東京都の条例が施行されるが、区内飲食店への対応は進んでいるのか。また、喫煙所についてもより多くの設置が求められるが現在の状況を伺う。

(2) その他

4 区有施設整備について

(1) 厳しい区有施設整備における今後の対応について

南青山の（仮称）港区子ども家庭総合支援センターや（仮称）港区白金台保育室の設置、赤羽小学校の建て替えについて地域の住民の皆さんにこれからも理解を求めていく必要がある状況だが、区内での土地取得はこれからも厳しい状況が続くと考えられる。その対応策を伺う。

(2) 子育て・高齢者支援施設整備について

区の人口が30万人を超えると予測する中で、子育てや高齢者への施策を進めていくには、当然のこと、より多くの施設を各地域に整備していかなければならない。土地の取得がより厳しくなっている中で、後手に回ることなく大規模な再開発による人口増に合わせてその地区における施設設置を考えていかなければならないと考えるが区の考えはいかがか。

(3) その他

5 道路の安全について

(1) 最近の交通事故における道路の安全確保策について

最近の高齢者による大きな交通事故については誠に残念でならない。ブレーキとアクセルの踏み間違いが指摘されているが、今一度、区内の歩道上の安全を確認すべきではないのか。車両がガードレールもなぎ倒して歩道上に侵入する状況を踏まえ、特に通学路の安全対策について早急に取り組むべきと考えるがいかがか。

(2) その他

6 港区観光協会の支援について

(1) より進んだ観光政策を進めていくことについて

以前より申し上げているが法人化された港区観光協会について、期待されている施策をより進めていくにはその体制を強化していくことが求められる。法人化して一年が経つが、現会長のいろいろなアイデアを実現するためにも支えるスタッフの増員が必要と考えるが区の

支援はいかがか。

(2) その他

7 まちづくりについて

(1) JR高輪ゲートウェイ駅周辺のまちづくりについて

来年の春に仮開業するJR新駅周辺については、それに伴う昼間も含めた人口増に対応するまちづくりを行わなければならない。区は三田・高輪地区まちづくりガイドラインを策定したわけだが、それに基づいたまちづくりを主導していくべきと考える。便利だけでなく、より安全で快適なまちをつくるには、区にはより強力なリーダーシップを発揮していただかなければならないと考えるがいかがか。

(2) 区有施設整備における樹木の取り扱いについて

区有施設整備において、既存樹木の伐採については必ず近隣住民からクレームが入る。施設整備においてはやむを得ない状況とも考えるが、できれば当初の設計からできる限り保存する設計を取っていただければと望む。今回の赤羽小学校の建て替えにおいて、環境に配慮した街並みや取得地の樹木の伐採についても問題視をされているが、移設可能な樹木については道路拡張計画が終わった区道上に移設することはできないのか。地域の自然環境を守り、地域の樹木を再利用することで近隣住民の理解を得ることにもつながること考えるがいかがか。

8 その他

石 渡 ゆきこ 議員 (みなと政策会議)

1 消費者問題の被害防止策について

(1) 特殊詐欺の被害抑止策について

高齢者の見守りネットワークの整備状況や、関連事業者との連携状況、その中での成年後見制度の活用について伺う。

(2) 消費生活条例の必要性について

不招請勧誘の禁止の必要性を問う。

2 消費者教育の充実について

(1) 消費者被害防止のための消費者教育のさらなる充実について

ア 小・中学生への消費者教育の状況について

イ 若年者に対しての消費者教育の状況について

ウ 小規模事業者・小売店舗事業者へのキャッシュレス化の注意点の啓発について

3 (仮称)港区子ども家庭総合支援センターについて

(1) 母子生活支援施設を一体とする施設建設の意義について

複合施設(特に母子生活支援施設)と一体として建設することで期待される機能・役割について

- (2) 専門家の常駐体制について
専門家による切れ目のない支援が必要である。
 - (3) 管理運営体制について
コストの考え方など現状での試算を伺う。
 - (4) 社会的養護について
啓発について
- 4 公共事業(施設整備)へ区民の意見を反映することについて
計画策定、意思決定段階へのさらなる区民参画の必要性を問う。
- 5 防災対策について
- (1) ペット同伴避難所について
整備状況と区民への啓発状況について
 - (2) 防災士の活用策について
現状と見通しについて
 - (3) マンション防災について
マンション防災の取り組みについて
- 6 父子・母子支援について
- (1) 離婚前後の支援について
協議のための書式提供や裁判手続のアドバイスなどの充実について
- 7 がんケアについて
- (1) 若年層のがん患者への支援策について
取り組み状況について
 - (2) 家族への支援について
啓発の必要性などについて
- 8 その他

杉浦 のりお 議員 (みなと政策会議)

- 1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について
- (1) チケットの購入に関する区のサポート体制について
東京2020大会を待ち望んでいた方々がストレスなく安心してチケットを購入していた
だけのようなサポート体制が区にあると喜ばれると思うが、区長の見解を伺う。
 - (2) 聖火リレーのランナーの募集について

一人でも多くの区民に聖火ランナーの募集手続の概要を周知し、聖火リレー当日は区も積極的に関与し、一生に一度かもしれない区内における聖火リレーを盛り上げていきたいと考えるが、区長の見解を伺う。

- (3) 東京2020大会のイベントと区内の夏祭り等のイベントが重なる場合の課題について
東京2020大会のイベントの情報収集や、道路使用許可が重なるような場合の警備等の調整、ボランティアスタッフの要請など、区として配慮すべき課題があると思うが、区の考えを伺う。
- (4) 東京2020大会における指定喫煙場所について
設置場所や設置数、案内板、巡回指導員の数や対応方法など、しっかりと考えておく必要があると思うが、区の見解を伺う。
- (5) 区立学校における子どもの競技観戦の機会を確保するための取り組みについて
区がこれまでに推進してきたオリンピック・パラリンピック教育の集大成と言える子どもの競技観戦について、区立幼稚園や小・中学校においてどのように取り組むつもりなのか、教育長の見解を伺う。

2 観光政策について

- (1) 多彩な観光資源を有する港区の国内外への発信とリピーターを増やす工夫について
多彩な観光資源を有する港区を国内外に発信し、より多くの観光客を誘致して区内を巡っていただくこと、リピーターをさらに増やして東京2020大会以降も港区に多くの方が訪れていただけるような工夫について、区の見解を伺う。
- (2) オーバーツーリズム対策について
港区でも持続可能で責任あるツーリズムを促進していくための対策が求められていると思うが、区の考えを伺う。
- (3) 第3次港区観光振興ビジョンについて
緊急時の訪日観光客への迅速かつ的確な情報伝達に関する区の考えを伺う。

3 防災・危機管理について

- (1) 港区安全の日について
安全対策の取り組みを強化すべき。
- (2) 違法薬物の防止について
東京2020大会時には、多くの方が港区を訪れるが、人が集まるところに違法薬物の魔の手が迫るのを防ぐ必要がある。その対策等について、区の考えを伺う。

4 新しいコミュニティの醸成について

- (1) 町会・自治会について
 - ア 港区協働事業活動補助金の実績と今後について
 - イ 今後の支援策について

- (2) 町会・自治会以外のコミュニティについて
町会・自治会以外でも新しい担い手に任せていくべきと考えるがいかがか。
- 5 芝浦・港南地域の新たなまちづくりについて
 - (1) 港南三丁目のスロープについて
港南三丁目にあるスロープを水陸両用車のために活用すべきと考えるがいかがか。
 - (2) 五色橋について
五色橋がかけられた史実を区民に伝えるのはいかがか。
- 6 J R高輪ゲートウェイ駅周辺のまちづくりについて
J R高輪ゲートウェイ駅周辺まちづくり推進本部を立ち上げた以降、どのような決定がなされたのか。
- 7 高齢者施設について
 - (1) 待機高齢者について
区内で建設中、または建設予定の高齢者施設によって、施設需要は満たされるのか。
- 8 平和と人権について
 - (1) 引きこもりについて
引きこもりの問題にどう対処していくのか。
 - (2) 平和事業について
東京2020大会に向けた行事の中で、区立芝公園の「平和の灯」を活用していただきたいと思うが、区の見解はいかがか。
- 9 働き方改革について
業務サポートセンター導入後の実績と今後の展望について
- 10 子どもの安全の確保について
園庭のない保育園の日常における安全をどのように確保していくのか。
- 11 郷土歴史館について
郷土歴史館のさらなる来館促進策を問う。
- 12 その他

なかね 大 議員 (公明党議員団)

- 1 地域の防犯カメラの設置促進について
 - (1) 防犯カメラの必要性について
必要性についてどのように考えているか。
 - (2) 地域への協力要請について
現在どのように働きかけ、今後どのように協働していくのか。

2 母乳育児への支援について

(1) 母乳育児について

国が推奨する母乳育児をどのように認識しているか。

(2) 母乳育児支援について

支援の必要性についてどのように考えているか。

3 高輪地区総合支所の自転車駐車場の整備について

大規模改修工事にあわせ、機能向上と安全の確保を図るため、5階部分にある池を撤去して自転車駐車場の整備すべき。

4 その他

近 藤 まさ子 議員 (公明党議員団)

1 令和の新時代に向けた今後の区の財政運営について

ア 令和の新時代を迎え、今後の財政規模や行政需要を的確に捉え、将来にわたって区民の負託に応えていくため、どのような財政運営を進めて行くのか。

イ その他

2 子どもを事故や事件から守る安全対策について

(1) 交通事故から子どもを守る安全対策について

関係機関と連携を強化し散歩、通園・通学ルートの特検と事故撲滅に向けた総合的な安全対策を早急に進めるべきと考えるが、いかがか。

(2) 凶悪な犯行から子どもを守る対策について

子どもを凶悪な犯行から守るため、見守り体制の強化と、不審者情報を共有するなど未然防止に向けた対策を。

(3) その他

3 使い捨てプラスチック削減に向けた取り組みについて

ア 「プラスチック・スマート×Minato Action」の啓発活動から、ワンウェイプラスチックの削減を確実に実践できる仕組みづくりにつなげるべき。

イ その他

4 食品ロス削減に向けた区の取り組みについて

(1) 食品ロス削減推進計画について

食品ロス削減に向けて目標を掲げ必要な施策を展開していくため、区独自の食品ロス削減推進計画の策定が必要では。

(2) フードドライブの積極的な展開について

フードドライブの窓口を各地区総合支所など区内各所に増設すべき。

(3) その他

5 幼児教育・保育の無償化に伴う区の子育て支援について

(1) 良質な保育・教育を受けられる体制について

幼児教育・保育の無償化と待機児童対策、保育の質の向上、保育士の確保を同時に進めて行く体制が必要。

(2) 第2子以降の保育料の無償化について

区として第2子以降の保育料については、要件を緩和して第1子の年齢にかかわらず無償化に踏み切るべき。

(3) 幼稚園保育料の無償化について

私立幼稚園の無償化に区としてどのように取り組むつもりか。

(4) その他

6 社会参加に困難さを抱えている方、そして、そのご家族に向けた相談窓口の周知、支援連携の強化について

ア 東京都ひきこもりサポートネットの周知や、東京都や区の各関係機関との連携強化を。

イ その他

7 生活困窮世帯に対する食料支援について

ア 法規の改正等を踏まえて、どのように取り組むつもりか。

イ その他

8 がん検診について

(1) 検診申し込み時にオプトアウト方式を取り入れることについて

(2) その他

9 草の根の文化活動支援による東京2020大会の気運醸成について

ア 草の根の文化活動団体にも必要な助成を行きわたらせ、一層の東京2020大会の気運醸成に取り組むべき。

イ その他

10 中小企業の消費税率引き上げに伴う新制度への対応促進について

ア 軽減税率やキャッシュレスへの対応を、区としても積極的に働き掛け、促進すべき。

イ その他

11 空き家等の対策について

(1) 特別措置法施行後の活用事例と今後の対応について

(2) その他

12 自転車駐車場の整備について

(1) 子育て世代に優しい自転車駐車場について

電動アシスト付自転車やチャイルドシート付自転車が利用可能となるよう子育て世代に

優しい自転車駐車場の整備を進めていくべき。

(2) 自転車駐車場空きスペースの活用について

既存の自転車駐車場の空きスペースを活用し電動アシスト付自転車やチャイルドシート付自転車が利用可能となるよう整備を進めて行くべき。

(3) その他

13 その他

榎本 茂 議員 (都民ファーストと日本維新の会)

1 湾岸都市計画の未来ビジョンについて

港区としての未来ビジョンを持ち、東京都に示すべきではないか。

2 防災体制について

(1) 傷病人の搬送について

港南地区には災害拠点病院がないため、船を使った傷病人の搬送計画を区は立案すべき。

(2) エレベーター対策について

エレベーターの閉じ込め対策を積極的に進めるべき。

(3) ドローンの活用について

被災状況の確認を速やかに行うためにドローンの活用体制の構築を急ぐべき。

3 受動喫煙防止とポイ捨てについて

(1) 指定喫煙場所について

受動喫煙防止のため、可能な限り完全密閉型の普及を進めるべき。

(2) ポイ捨てについて

指定喫煙場所があることによって、たばこのポイ捨ての量が増えることについて

4 外国人の刑法犯増加の対策について

(1) 来日外国人犯罪の増加について

増加する来日外国人の犯罪への対策は急務であると考えがいかがか。

(2) 情報共有について

より一層の警察との情報共有を進めるべき。

5 その他

福島 宏子 議員 (共産党議員団)

1 子どもの安全を守る取り組みについて

今年4月1日現在、港区は78.1%の保育園で園庭を持っていないもしくは基準を満たし

ていない実態。日本共産党港区議員団は「園庭のある港区立認可保育園の建設」を要望してきた。また、滋賀県大津市での事故の後すぐに「散歩時の安全点検を急ぐ5項目の申し入れ」を区長に対して行った。区としても区内の全園で調査を行い安全に努めるとの回答をいただいた。保育園任せにせず区としても散歩時の安全点検を急ぎ、早急に対策を講じることが求められる。子どもたちにとって最も不幸なことは散歩が自粛されてしまうこと。

通学・通園時に危険を感じるとの切実な声が寄せられた。特に白金の丘学園の前のバス通りは歩道が狭く、バスを待つ人がいると人が通るのも難しい。バギーや自転車は車道を通るしかない。車の速度規制も含め、安全確保に取り組む必要がある。

- ア 散歩時は人員増が必要。区独自の予算措置を行うこと。
- イ 安全点検調査結果を区民に知らせ、現場から出された改善点を早急に実現すること。
- ウ ガードレールの設置、歩道の確保、キッズゾーンの指定に取り組むこと。
- エ 白金の丘学園の登下校の安全確保のため、専任の警備員を配置すること。
- オ ゾーン30の速度規制の徹底、必要に応じて範囲の拡大をすること。
- カ その他

2 港区保育室の運営に関する監督責任について

昨年開設された白金地域の2つの保育室で園長不在など、深刻な実態が明らかになった。公立保育園に準じた施設である点からも区の責任が問われる。

- ア 具体的対策を示し、安心できる保育の提供を急ぐこと。
- イ その他

3 幼児教育・保育の無償化について

子ども・子育て支援法の改正に伴う幼児教育・保育の無償化は、保育の質の低下を進めるのではとの心配の声が上がっている。低所得者にとってはむしろ負担が増えることが予想される。0から2歳児の課税世帯は対象外になるため増税だけがかぶせられる。また、無償化のための費用は市区町村の負担になるため公立保育園・幼稚園の廃止や民営化が加速されることが危惧される。無償化にあたって改善すべき点を質問する。

- ア 保育に責任を持つ自治体として、公立保育園・幼稚園を守る立場を明確にすること。
- イ 国に対し、公立保育園・幼稚園への財政支援を求めること。
- ウ 安全・安心な認可保育園の増設を進めること。
- エ 認可外保育施設を含む全ての保育施設での保育の質の確保や指導をさらに強めること。
- オ 事務処理の負担が増える現場に職員の配置などの対策を取ること。
- カ その他

4 羽田低空飛行計画について

羽田空港の機能強化をめぐり、区民の命と暮らしは危機に直面している。2月に区内5か所で開催された国土交通省による説明会でも計画の撤回を求める声が全て。賛成の声はなかった。

国土交通省が区民に示した資料の中の騒音レベルは条件つきだったことも明らかになった。再度正確な情報の提供が求められる。また、時間切れで質問できなかった人も多くいた。説明は十分といえるのか。区民の理解を得られていない今の状況で、このまま強行を許してよいのか。騒音による健康被害は世界保健機関、いわゆるWHOでも警笛を鳴らしている。乳幼児のお昼寝への影響も心配される。区民の安全・命を守るこそ区政の役割だと考える。

ア 区長は国際競争力の強化と区民の暮らし、安全・命を守ることのどちらが大切だと考えるのか。

イ 国土交通省に計画の撤回を求めること。

ウ 試験飛行の実施を国に求めること。

エ 教室型説明会を再度全地区で行うこと。昼と夜の時間帯で多くの区民が参加できる設定にすること。

オ その他

5 その他

風見利男議員（共産党議員団）

1 （仮称）神宮外苑地区市街地再開発事業について

(1) 三井不動産株式会社など事業者計画の白紙撤回を求めることについて

（仮称）神宮外苑地区市街地再開発事業は、神宮外苑の景観、環境、文化、貴重な緑等を根底から破壊するものです。また、明治神宮の外苑としての歴史的な成り立ち、文化的価値をもないがしろにする計画です。

この計画の問題点は、次のとおりです。①外苑の貴重な景観が破壊される。②近隣住民への配慮が全くない計画。③緑の保全ができないことに加え地球温暖化の拡大が懸念される。④高さ190メートルものビルによる風害が耐えがたいものになる。⑤神宮外苑にホテルはなじまない。⑥今あるテニスコート（室内も含む）がなくなってしまう。一般のスポーツ愛好家を追い出すもの。

港区は、神宮外苑銀杏並木周辺を景観形成特別地区に指定し、景観を何よりも大切にする地域としている。そして、「景観重要公共施設」として神宮外苑銀杏並木を位置づけ、「神宮外苑銀杏並木は、明治神宮外苑の造成に先立つ1923（大正12）年に植樹が行われた、由緒ある並木道です。聖徳記念絵画館をアイストップとして、銀杏並木が創り出す典型的なヴィスタ景は、首都・東京を代表する風格ある眺望の一つです。このような風格ある眺望を将来にわたって保全することができるよう、銀杏並木を適切に管理します」としている。このイチョウ並木を中心とした神宮外苑の景観を破壊する計画は、港区としても断じて許せないとはいえず。三井不動産株式会社など事業者計画の白紙撤回を求めること。

(2) その他

2 青山地域での鮮魚等の移動販売について

- (1) 都営北青山三丁目団地内の民間開発ビル内に生鮮三品や日用品などの店舗の誘致が実現するまでの間、野菜の移動販売を継続することについて

大型スーパーマーケットの閉店に伴って、生鮮三品、日用品が買える場所の確保を求める声がたくさん寄せられた。

私は1月17日、区に閉店日の延長などの対応を要請以来、生鮮三品などが買える場所の確保を提案。担当部署の頑張りで、4月26日から都営北青山三丁目団地内で野菜・果物の移動販売が始まった。

都営北青山三丁目団地内の民間開発ビル内に生鮮三品や日用品などの店舗の誘致が実現するまでの間、野菜の移動販売を継続すること。

- (2) 青山地域の野菜の移動販売の場所で鮮魚類の移動販売の検討することについて

皆さんが望んでいるのは、鮮魚類の販売です。赤坂にある全国水産物商業協同組合連合会に相談するなど、移動販売ができる事業者を探すことが必要です。

今、青山地域で野菜の移動販売を行っている場所を使って、週1回か2回、鮮魚類の巡回移動販売ができないのか、検討を進めること。

(3) その他

3 今、大問題になっている年金問題について

- (1) 国に低年金者の年金の底上げと、マクロ経済スライドをやめるよう要請することについて

安倍政権は「100年安心の年金」を言いながら、金融庁審議会報告書で、毎月5万5千円の不足、30年で2,000万円必要なことが明らかになった。「年金の安心」を言うなら低年金者の年金の底上げが必要です。日本共産党は、年間6万円の年金の底上げと、マクロ経済スライドをやめることを提案している。国に低年金者の年金の底上げと、マクロ経済スライドをやめるよう要請すること。

(2) その他

4 国民健康保険料の第2子以降の子どもの均等割額を無料にすることについて

- (1) 第2子以降の子どもの均等割額を無料にすることについて

国民健康保険制度は、加入者の所得が低いにもかかわらず、他の医療保険より保険料が高く、負担が限界になっていることについて、全国知事会、全国市長会、全国町村会からも「国保の構造問題」として改善を求めている。全国知事会は、公費を1兆円投入して全国健康保険協会、いわゆる協会けんぽ並の負担にするよう政府に求めている（2014年）。

2019年度の特別区の均等割保険料は一人当たり51,000円から52,200円になった。子どもの数が増えるほど保険料が高くなり、子育て支援にも逆行することから、子どもの均等割額を独自で減免する自治体が全国でも増えている。東京都では東大和市、昭島

市、清瀬市、武蔵村山市で、多子世帯の均等割額の軽減を実施している。港区として、早急に第2子以降の子どもの均等割額を無料にすること。

(2) その他

5 アドボケイト（代弁者）制度について

(1) アドボケイト（代弁者）制度導入について

昨年3月に目黒区で5歳の女兒、今年1月には千葉県野田市の小学校4年生の女兒、6月には北海道札幌市で2歳の女兒が虐待で亡くなりました。

子どものSOSをしっかりと受けとめるアドボケイト制度導入を求める声が高まっています。三重県では、県職員を対象に研修を行い、担当者以外の職員を含めこれまで以上に子どもの気持ちを意識して対応するようになってきている。児童福祉法の改正を待つことなく、三重県での取り組みを参考にアドボケイト制度導入への取り組みを行うこと。

(2) その他

6 加齢に伴う難聴者への補聴器購入費用の助成制度について

(1) 加齢性難聴者の補聴器購入費用助成について

70歳以上の半数に難聴があるとされています。言葉が聞こえにくくなると認知機能が低下し、認知症のリスクが高まります。

世界保健機関、いわゆるWHOでは41デシベル以上に補聴器をつけることが推奨されています。しかし、補聴器は20万から50万円ほどと高価で、年金暮らしの高齢者には手が届きません。全国で補助制度が広がり、23区でも9区が補助制度を実施しています。港区も補助を実施すること。

(2) 特定健診に聴力検査を加えることについて

自分の聞こえを知ることは、補聴器を使うかどうかの判断や、認知症予防にも重要です。特定健診に、聴力検査を加えること。

(3) 港区医師会で実施している、高齢者聴力検診の周知について

現在、港区医師会では、独自検診として、高齢者難聴の早期発見のための聴力検診を行っています。

港区医師会の意見を聞き、高齢者聴力検診のお知らせを区民健診の案内に同封するなど、高齢者聴力検診を知らせる手立てを検討すること。

(4) その他

7 高齢者支援のあり方について

(1) 先進事例に倣い高齢者に寄り添った、きめ細やかな対応について

一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、経済的に困っている世帯、身寄りのない高齢者、医療と介護・福祉のはざままで苦しんでいる方にどのように対応していくのか、どのように支援していくのか、身近な自治体に求められています。

愛知県半田市は、身元保証人がいなくても判断能力が低下しても適切な医療・介護が受けられるようにすることを基本に据え、利用料の支払いに関すること等5項目について、支援者などを記入した「支援シート」を作成し対応しています。

こうした先進事例も参考に、もっと寄り添ったきめ細やかな対応をすべき。

- (2) 職員の研修の充実、病院、高齢者相談センターなど関係部署との連携の見直しなど、相談者のための支援について

経験豊かな福祉の専門家の配置、福祉にかかわる職員の研修、病院や高齢者相談センター、介護事業所など関係部署との連携のあり方などを再度見直し、相談者に寄り添った支援をすること。

- (3) その他

- 8 区施設のトイレを計画的に洋式、温水洗浄便座へ改修することについて

ア 区役所本庁舎のトイレは大規模改修に合わせて、洋式、温水洗浄便座に改修されました。社会的な流れ、大規模災害の避難場所としての機能を考えたとき、洋式、温水洗浄便座への計画的改修を進めるべき。

イ その他

- 9 教科書展示会の改善について

ア 港区内では、5月31日から7月3日まで教科書展示が行われています。

みなと図書館では、案内が出ていないために教科書展示が行われていることがわからない。展示コーナーが2階の奥のため、職員に聞かないとわからない。また、本棚に教科書がぎゅうぎゅう詰めのため、出し入れが困難などの課題があります。区民や保護者等が見やすいよう改善すべき。

イ その他

- 10 その他

玉木 まこと 議員 (街づくりミナト)

- 1 公園利用者のさらなる利便性の向上について

- (1) 公園内での飲食物等の販売について

区立公園の指定管理者の提案書の中には移動販売車等の記載が含まれているが、現在の取り組み状況と実現に対する区の支援は。

- 2 公園周辺の交通安全対策について

警察等の関係機関にも働きかけていただき、公園周辺の車の路上駐車禁止や走行への注意喚起を強化していただきたいと考えるが、公園周辺の安全対策の取り組みは。

- 3 通学路の安全対策について

現在、シルバー人材センターが行っている登下校時の見守りについて、ぜひ地域の実情を考慮して、対策の強化を検討いただきたいと考えるが、区の考えは。

4 その他